

無料です!!

燕市内どこでも出張します!!

「認知症サポーター養成講座」

認知症はだれもがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、多くの人にとって身近なものとなっています。

燕市吉田地区地域包括支援センターでは認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症の人やその家族を支える応援者になっていただく

「**認知症サポーター養成講座**」の出前講座を実施しています。



ご興味がある団体、企業、学校等の皆さんお気軽にご相談ください!!
なお、認知症サポーター養成講座はSDGsの取り組みにもつながります。

○認知症サポーターとは？

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。
認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者」です。

その上で、自分のできる範囲でサポーターとして活動しています。認知症サポーター養成講座で得た知識を生かし、近所で気になることがあればさりげなく見守る、まちなかで困っている人がいたら手助けすることも立派な活動の一つです。

「認知症ってどんな病気?」「認知症の人に対してどう接すればよいの?」など興味のある方は、認知症サポーター養成講座を受講することで、どなたでもサポーターになることができます。

【認知症サポーター養成講座の内容】

- 認知症の基礎知識を学ぶ
- 認知症の人や家族の気持ちの理解
- 安心して認知症になれるまちづくり
- サポーターの役割
- こんな時どうする?～認知症の方への接し方～
- その他

など



※内容についてはご希望に合わせて調整可能です。

Q1：以前も講座を受けたことがあるのですが、また参加しても良いでしょうか？

A1：何度でも参加可能です。また、内容を少し変えてほしい。もっと詳しいことが知りたいなどご要望がありましたらご相談ください。

Q2：小学生や中学生には内容的に難しいのではないのでしょうか？

A2：子どもの頃から正しい知識を学ぶことはとても大切なことです。小学生用、中学生用のテキストがそれぞれありますので、ご安心ください。また、ご要望があれば寸劇や体験などのプログラムを盛り込むこともできます。

Q3：認知症サポーター養成講座の依頼をしたいのですが、参加者の人数、開催の時間帯、費用などはどうですか？

A3：10人以上の団体、グループだとありがたいですが、10人未満の場合でもまずはご相談ください。時間帯、曜日などはご相談できます。土日や時間外も対応します。費用は原則無料ですが会場費等の負担は依頼主様負担となります。

Q4：燕市の認知症サポーターはどのくらいいますか？

A4：燕市で養成講座を受けた認知症サポーターは8,026人です。
(2023年4月1日現在)



Aさん：家族が認知症になり、少しでも認知症のことを知ろうと参加しました。講義も分かりやすく、まったく知識のない私でもよくわかりました。

Bさん：認知症の寸劇があり、認知症のことは全く知りませんでした。イメージすることができました。

Cさん：認知症は他人ごとではないと思いました。社会全体で考えていかなければならない問題だと思いました。無理はせず、自分のできる範囲のことから地域に貢献したいと思いました。

Dさん：普段の業務の中でお客様の対応で困ることがありましたが、認知症の方への接し方などを学ぶことができたので、今後の業務にいかしたいです。

Eさん：認知症になっても自分らしく生活できる町になるといいなと思いました。

Fさん：中学生です。認知症のこと、福祉に興味を湧きました。将来、福祉の仕事を目指したいです。

Gさん：地域のつながりも大事だと思いました。近所に独り暮らしの高齢者がいます。今度、挨拶を試みようと思います。

Hさん：お婆ちゃんに優しくしたいと思いました。

参加者の声

企業・団体の認知症サポーター

企業・団体の方から認知症サポーター養成講座を受けていただき申請をします、新潟県からステッカーが公布され、「**認知症サポーターのいる企業・団体**」として新潟県のホームページに掲載されます。



認知症サポーターのステッカー
※下部に企業・団体名が印刷されます

【認知症サポーター養成講座の申し込み先・お問い合わせ先】

燕市吉田地区地域包括支援センター

住所：燕市吉田大保町25-15 ひまわりの園相談センター内

TEL：0256-94-7676

FAX：0256-77-8407

E-mail：y-houkatsu@e-taiyou.jp